

## 大田区自立支援協議会 第9回相談支援部会要旨

文責：茂野委員、事務局一部修正

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第9回相談支援部会				
(2) 開催日時	令和4年10月12日(水) 9:30~12:00				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター5階 多目的室				
(4) 出席した委員、事務局等	委員 <span style="float: right;">&lt;敬称略&gt;</span>				
	神作 彩子	古怒田 幸子	山本 利寛	清水 悠子	井岡 幸子
	石川 洋平	井町 恵	上原 優希	大窪 恒	大類 信裕
	草野 牧子	小嶋 愛斗	茂野 俊哉	清野 弘子	筒井 寛孝
	野崎 陽一郎				
	事務局：須藤 成政、柳田 実希、酒井 史穂、阿部 朝奈				
	オブザーバー：徳留 敦子、高柳 茂泰、金子 江理子、廣井 千晴、村田 亮、小川 幹夫、七尾 尚之、馬場 聡子、渡部 尚				
欠席者：永井 良宗、渡邊 伸幸、後藤 憲治					
(5) 内容・要旨	<p>1 連絡確認事項</p> <p>(1) 司会・書記の確認 司会は神作部会長、須藤係長。書記は茂野委員と確認した。</p> <p>(2) 前回議事録及び意見出しカードの確認 高齢関係とのやり取りを活用しながら、ワーキンググループも含め連携していきたい。相談支援体制の第二層について、全体で理解が広がるよう機会がある度にお話ししていきたい。部会で話あった内容が、どこに反映されているのか見えにくいこともあるが、協議会の活動を続けることで、手ごたえに繋がることや区の施策に反映されていくこともあると思っている。意見を出し続けていくこと、伝え続けることが協議会の活動として大切だと思う。</p> <p>(3) 第1回ワーキンググループの報告 相談支援体制の第二層の充実に関することをテーマとしている。第1回を9月28日に実施した。区の第二層の現状を分析・把握すること、他自治体の体制について情報収集をする必要があることが意見として挙げた。</p> <p>(4) 運営会議（9月29日実施）の報告 交流会の内容について。小グループでセッション、各部会の活動内容について話し合うこととなった。10月19日に障がい者総合サポートセンターにて開催する。編集委員の清水委員には、協議会だよりに開催内容を反映していただきたい。</p> <p>(5) 交流会について 参加申し込みは、現在約20名いる。可能な方はぜひご参加いただき、今後の協議会活動に繋げていただきたい。</p>				

## 2 本日の検討課題

### (1) 訪問看護について ～訪問看護の役割～

シップ訪問看護ステーション多摩川 呉 ルミ氏より説明

訪問看護ステーション協会が出したリーフレットを皆様に配布している。大田区の訪問看護ステーションは約 100 か所（サテライト含む）ある。連絡会には約 40 か所が参加している。訪問看護ステーションは、24 時間連絡がついて、何かあれば駆けつけるところという印象があると思う。本来は幼児から高齢者までを対象としているが、小児に特化、リハビリに特化、精神障がいのある方の看護に特化など事業所によって特色があるので、相談の際に参考にさせていただきたい。今後どのような関わりをもち、どのようにすれば連携、情報共有ができるかを考え、顔の見える関係を築いていきたい。

グループワーク「訪問看護ステーションにどのようなことをしてほしいか、今までどのような関わりがあったか。」

#### A グループ

- 入院中の方が在宅に戻るときに介入について（服薬管理、病識を持っていただけるような関わり、医師との情報共有、家族への関わり）
- 訪問看護が間に入り医師と情報を取り次ぎしていただくと話が早く進む傾向がある。

<呉氏より返答>

- 特別指示書について。医師からの特別指示で2週間、医療保険を使い訪問看護が入る。訪問看護計画書は病状変化によって立て直している。毎月利用者から署名をいただき、月1回医師に報告書を提出する。本人の病状が報告書に記載してあるので、知りたい場合は声をかけていただければ提供できる。
- 事業所によって異なるが、24時間の付き添いは自費でサービスを利用することとなる。（スーパーナースの派遣など）

<委員より呉氏へ質問>

- 訪問看護の主な内容は何か

バイタルチェック、異常があれば、主治医に報告する。

- 医療保険、介護保険で対応に違いはあるか

看護師の対応に違いはない。例えば、食道がんは介護保険、食道がん末期は医療保険などで異なる。また、訪問時間によって点数が変わる。

#### B グループ

- 訪問看護との関わりだと、介護保険は終末ケア、エンジェルケアなど家族の満足度の高い事業所もある。
- 医療的ケアが必要な方、訪問看護が医師との連携のかなめとなっている。連携、情報共有をさせていただいている。
- 精神障がいのある方には、服薬管理、通院の促しをさせていただいている。

- 自立支援医療の対象でない方は3割負担となるので、費用面で利用できない方もいる。
- 災害時の安否確認、避難計画の作成等助かっている。
- バイタルチェック、服薬管理をしていただいている。あるケースでは副作用で体重が増えたようだったので、そういった面で医師と連携していただけると嬉しかった。
- 訪問看護ステーションに精神障がいのある方の受け入れをしていただけると嬉しい。
- 非常時の安否確認についても、事業所によって対応が異なる。

<呉氏より返答>

- エンジェルケアについては、死亡後は介護保険も、医療保険も算定できなくなるため、自費となる。費用は事業所によって異なる。
- 人工呼吸器を利用している方だと、災害時（非常時）、小児を含む訪問看護の関わりがない方まで訪問看護師は把握できていない。避難方法（誰が避難所につれていくのか等）の課題について、今後検討していきたい。
- 精神障がいのある方の対応は、研修を受けた看護師でないと受け入れることができない。作業療法士しか算定を受けることができない。

#### C グループ

- 訪問看護には、バイタルチェック、精神障がいのある方の状態確認、入浴介助、足浴、身体介護するにあたっての助言、服薬管理などをしていただいている。

<委員より呉氏へ質問>

- 24時間体制という認識があまりなかったが、24時間体制のステーションはどのように動いているのか。

契約による。24時間体制を行うには、訪問看護ステーションから国に届け出が必要。医師との連絡調整も看護師が行う。状況によって、訪問看護師が向かうか、医師に連絡するか変わってくる。24時間連絡とれるが、すぐに向かえるということではない。その旨も説明して契約する。

- 精神障がいのある方の不安定な状態の時の対応はどのようにしているか。話の内容によって時間を決めて話す。訪問看護側も、相談支援専門員から精神障がいのある方への対応方法を教えてほしい。
- 入浴介助は看護師が行うのか

入浴後医療行為がある場合等、看護師が対応した方が良いケースは看護師が行う。

#### D グループ

- 訪問看護の相談について、窓口がどこか悩むことがある。
- 介護保険と障害福祉サービスの違い。情報連携が難しい。
- 訪問看護ステーションの区内事業所一覧表があると助かる。

<呉氏より返答>

● 区内事業所の一覧表について、連絡会内で把握するために作成しているものがあるが更新できていない部分があり、更新後配布したいと考えている。ステーションの特色があるので、もう一度しっかりまとめたい。連絡会のパンフレットも作っていたが、今は事業所数が増えたので医師会ごとにまとめている。

(2) 全体での質疑応答

● 呉氏、訪問看護師は、相談支援専門員にどのようなイメージがあるか。様々なサービスを使って調整する、サービスの調整係なイメージ。計画を立て、モニタリングしたり、訪問し様子を見る方。

● 相談支援専門員の認知度はどうしたら上がるか。日ごろの関わりや支援を示したリーフレットがあると良いのではないか。

(3) 在宅医療連携ノートについて報告

大類委員よりお話をいただき、在宅医療推進協議会に参加させていただくこととなった。相談支援部会で話し合った内容が、かたちになったもののひとつだと思う。

<井岡委員より説明>

● 在宅医療連携ノート使用のアンケート結果について  
アンケートには、「使いづらい」という声が多く、今後使用を推進していかない方向となった。今後は、ITを使用した連携にシフトチェンジし検討していく。

● 訪問看護ステーション一覧について  
配布することは難しいが、訪問看護ステーションの一覧が在宅医療連携窓口にある。情報提供は可能なので、困りごとがあればご相談いただきたい。

<神作部会長より呉氏へ質問>

● サービス等利用計画は知っているか  
→作成されていることは知っているが、見たことはない。

神作部会長より説明

区内相談支援事業者向けに行った「医療と障害福祉の連携について」のアンケートでは、回答者の半分以上が、本人の了承を得た上で、看護師にサービス等利用計画書を渡していると回答していた。チーム支援として、情報共有をすることで相談支援専門員を知っていただくきっかけとなるのではないかと。まずは、相談支援専門員から訪問看護師へ、共有していく必要があると思っている。本会議で知った情報について、委員の皆様が参加されている連絡会等で話を広めていただければと思う。

【次回日程】令和4年12月7日(水) 9時30分～12時00分  
障がい者総合サポートセンター 5階 多目的室